



活動報告書



南三陸
子そだて
ハッピー
PJ

2025.4 - 2026.3

わたしたちの活動について

昨年は、多くの皆さまからの募金によるご支援をいただき、宮城県共同募金会「令和6年度テーマ型みやぎチャレンジプロジェクト助成事業」として「南三陸子そだてハッピープロジェクト」を実施しました。本活動では、町の子どもたちと子育て世代が安心して過ごし、まなび・交流できる場づくりを行うことができました。

ママと赤ちゃんのサポート“ゆるりん”

見守りサポーターや地域で活動しているママたちの協力を得ながら運営しました。

出産後、自宅で過ごす時間が多くなりがちなママたちにとって、ほっと一息ついたり、おしゃべりを楽しんだりできる時間となりました。また、町内で同じ年頃の子どもを育てる親子同士が出会い、つながる場にもなりました。

家では忙しくてなかなかできない
体験を子どもと一緒に
できて思い出になりました。
自分のための時間は
とっってもリフレッシュできました！

参加したママの声

- ・ 野菜を育てる会
- ・ 絵本読み聞かせ
- ・ ママのヘッドスパ
- ・ ママのリンパケア
- ・ ベビーマッサージ
- ・ 手作りおやつ会など



6月-3月まで 延べ43組親子利用

ゆるりん スタッフからの メッセージ

参加してくださった親子とともに、スタッフ自身も多くの体験を重ねることができました。ゆったりとした温かな時間はとても貴重であり、「ゆるりん」を通じて新たな出会いが生まれたことを嬉しく感じています。

ママたちが安心してゆっくり過ごせる場所となるよう、スタッフ一同、落ち着いた空間づくりを心がけました。「ゆるりん」を通じてさまざまな経験や出会いに恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいです。心に残る大切な時間となりました。



小学生のための“見守り学習室”

学校の長期休みに実施している見守り学習室では、見守りサポーターのもと、宿題に取り組んだり、本を読んだり、オセロや折り紙などを楽しみながら、友だちと有意義な時間を過ごしました。子どもたちの居場所であると同時に、保護者のちょっとした困りごとを支える場としても活用されています。

夏休み・冬休み・春休み 計8日、延べ162人利用



家では捗らない宿題も、外ではしっかりとやってくれるのでとても助かりました！お弁当を持ってお友だちと食べられるのもよかったです。

保護者の声



課題はたくさんあるけれど、みんなで話し合っ、前向きにできることを考えてみることも大切だなと感じました。

7/20 第3回しゃべりば、
35名参加
2/1 第4回しゃべりば@
戸倉公民館、38名参加

南三陸子育て作戦会議“しゃべりば”

南三陸町で子育てをしていく中で感じる「こんなことができたらいいな」「困りごと」「みんなはどう思っているのだろう」といった思いを共有し、意見交換を行いながら、よりよい町づくりにつなげる取り組みを進めています。

南三陸町保健福祉課と任意団体「みなはぴ」との共催により企画・運営し、開催後には関係者で振り返りを行い、その場で出された意見のフォローアップにも取り組んでいます。



“しゃべりば”で
沢山集まった声から
生まれた活動

・小学生の放課後の居場所事業が25年9月から任意団体「みなはぴ」によりスタートしました！

まなびの場づくり

子育て中の保護者や町内外の子ども支援に関わる人々をつなぎ、学び合う機会を通して、地域のネットワークづくりを進めています。

<テーマ>

- ・子どもの発育と体内時計
- ・子どもの権利
- ・子ども・若者の声を聞くとどうすればよい？



今後の取り組みについて

活動規模は見直し、実施回数は減少しますが、これまでの4年間で育まれてきた、地域の中で子どもと子育て家庭を見守り支えるつながりを大切にしながら、今後も活動を継続していきます。引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますと幸いです。

NPO法人ウィメンズアイ

HPIはこちら

宮城県本吉郡南三陸町歌津字田表35-1
info@womenseye.net

